

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体
見初地域づくり協議会
見初自主防災会
見初自治会連合会
見初子ども委員会 等

事業名	1	地域防災強化事業			
事業期間	令和4年5月～令和5年3月				
決算額	504,085 円		助成金充当額	100,000 円	
事業対象者	全地区民及び役員		参加人数	延べ、300人程度	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・世帯調査活動を実施。 ・宇部市と連携し「宇部市総合防災訓練」を実施。 ・備品等の点検を毎月1回実施。 ・小学校6年生を対象にした「通学合宿」の中で「防災訓練」の一環として「テント泊」を実施。				
事業目標	世帯調査活動を実施することによって一層の啓発活動を行う。また、災害時の準備の充実に関してもより災害時に対応できる具体的な活動を展開する。また、新型コロナの状況に応じて可能であれば「総合防災訓練」を実施する。				
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績		
	100人(防災訓練があれば150名)	達成	延べ、300人程度		
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) 今年度は、「宇部市総合防災訓練」の開催も影響して、役員会の回数が前年度よりも増加。また、「宇部市総合防災訓練」を実施するために、役員会で細かく検討し進めていくことにより、当日は多くの役員が積極的に参加した。加えて、多くの自治会が「世帯調査」に協力し、防災に関する意識がある程度向上したと考える。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・独自に避難できない地区民の避難の態勢づくり。 ・防災組織の再検討				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	③
	今後も事業継続できますか		1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)

見初地域づくり協議会
見初スポーツ振興委員協議会
事業実施団体 見初ふれあい親和会
見初子ども委員会 等

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	1,066,745 円	助成金充当額	400,000 円	
事業対象者	全地区民・ふれあい親和会会員	参加人数	延べ、約500人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 見初地区健康プランの実施。特に今年度は「認知症サポート養成講座」を4回開催するなど具体的な活動を行った。また、地区民及び高齢者の「適度な運動」日常化に関する事業の実施においては、令和4年度は、スポーツ振興委員協議会が購入した「ポッチャ」の用具を有効活用して、地区の中にポッチャが広まった。ふれあい親和会は毎月1回ポッチャを実施し、年1回のポッチャ大会を実施した。また、スポーツ振興委員協議会は年2回のポッチャ大会を実施。			
事業目標	・WHOの健康の定義にあるように、単に「『病気でない』とか『病弱でない』から健康である」という考えでなく、「WHOの定義」に基づく「健康づくり」を地区の中に日常化する事業を実践していく。それは「互いを認め合う」ということにつながる。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	延べ400名の参加	達成	延べ約500名	
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因)			
	令和4年度は「新型コロナ」感染問題は、社会的な規制緩和となっていたので、各団体の行事はほぼ予定通り実施できた。このことにより、質・量共にほぼ達成できた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ポッチャというリクリエーションスポーツの普及により、楽しく活動を行うことができ、交流が一層深まった。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 事業に関わるスタッフの数を増やす。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)

見初地域づくり協議会
事業実施団体 見初小学校学校運営協議会
神原中学校学校運営協議会
見初小学校育友会 等

事業名	3	小・中学校との連携事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	459,149円	助成金充当額	300,000円	
事業対象者	全地区民、小中学校関係者	参加人数	内容的には人数で換算できない	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 学校・地域・育友会が連携して見守り活動、学校内の緑地活動、通学合宿等を実施し「山口型地域連携教育」の活動に取り組む。			
事業目標	・見初小学校学校運営協議会・見初小学校・見初小学校育友会(PTA)・神原中学校運営協議会・神原中学校・神原中学校PTA・見初地域づくり協議会が連携し、15歳を見通した子どもの育ちに取り組むと同時に、地区の未来を担う人間の育成を図る。同時に、子どもたちに大きな影響を持つ保護者の事業の参加を促し、関係団体互いの連携を一層充実させる。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	・中学生の地域行事への参加者を昨年度比103%にする	達成	昨年度よりも、学校・家庭・地域の連携が深まっている。	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 中学生との連携が昨年度よりも深まった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 子育て世代の地域への協力が増えてきた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 子育て世代の大人の時間的な余裕を増やす。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)

見初社会福祉協議会
事業実施団体 見初民生児童委員協議会
見初ふれあい親和会

事業名	4	高齢者福祉事業		
事業期間	令和4年5月～令和5年3月			
決算額	267,217円	助成金充当額	200,000円	
事業対象者	地区在住高齢者	参加人数	延べ、約200人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 当初の計画は、長寿お祝い活動の実施、高齢者交流活動としての「昼食会」の実施、合同慰霊祭の実施、ふれあいサロンの実施であった。しかし、「新型コロナ」問題で「昼食会」はできなかった。でも、「ふれあいサロン」は、「常安寺」、「40区公会堂」、「ふれあいセンター」の地区内3カ所で開催した。また、ふれあいサロンは、南部第2高齢者総合相談センター、健康・保健福祉支援チーム、むべの里等の地区に関わる公的団体との協力・協働で実施した。			
事業目標	長寿のお祝いを地区で行うことで、「長寿の喜び」を実感すると共に、高齢者同士がふれあう機会を設定することで「高齢化地域としての見初」の活性化を図る。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	各事業の参加者を昨年度比102%にする	達成	実施回数・各事業の参加者数増	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ふれあいセンターで開催した「レコードcafe」は地区として定着。また、「ふれあい昼食会」を1回であったが実施できた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 高齢者同士の交流を深め、孤立した高齢者を減少させる効果があった。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 役員の世代交代を検討していくことが必要。			
自己評価	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
(3段階評価)	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
1:不十分	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
2:効果的	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)

事業実施団体
環境衛生連合会見初支部
見初交通安全推進委員会
見初防犯連絡所指導員協議会
見初ふれあい運動推進委員会

事業名	5	安全・安心・快適環境づくり事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	441,160円	助成金充当額	45,000円	
事業対象者	全地区民	参加人数	内容的に人数で表すことはできない	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ごみステーションは昨年度全ての自治会が新しい物に変更完了したため今年度は新設はなかった。しかし、防犯灯に関してはLED変更の防犯灯が10年以上経過した物の変更が多く、故障する前に変更し、夜間の防犯灯に効果があった。			
事業目標	地域の「快適な生活環境」を一層創造するために、生活環境づくり、交通安全関係の環境づくり、犯罪のない地域づくりの活動の事業を行い、より生活しやすい地域づくりを目指す。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	スタッフ参加者増	達成	各事業の関わるスタッフが増加	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 日々の働きかけによる。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 子どもたちの通学時の安全、高齢者の安全が比較的守られた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 中心となるメンバーの若返りの謙と。			
自己評価 (3段階評価)	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)

見初地域づくり協議会
実施団体 見初子ども委員会
見初ふれあい親和会

事業名	6	三世代交流事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	383,390円		助成金充当額	61,300円
事業対象者	全地区民		参加人数	延べ約600名
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 当初計画では、伝統あそびの実施、夏まつり行事の実施、見守り活動の実施、餅つき・しめ縄飾り行事の実施、どんど焼行事の実施であった。伝統あそびは諸般の事情で実施できなかったが、他は全て実施できた。特に「夏まつり」は3年ぶりに実施でき約300名の参加者があった。これら全ての行事は事前に何回も役員が集まり内容や運営方法に関して打ち合わせを行い実施した。			
事業目標	三世代が交流する場として、様々な行事を実施する中で、地区住民相互の交流を深めより一層住みやすい地域を創る。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	参加者を昨年度比105%	達成	延べ約600人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 事前の役員会での打ち合わせの充実と広報の充実によると考えられる。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) スタッフに関して、少しずつ子育て世代の参加が増えた。また、若い世代の参加の増加がみられた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 役員の世代交代を意識的に追求する必要がある。			
自己評価 (3段階評価)	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
1:不十分	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
2:効果的	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)

見初地域づくり協議会
見初地区自治会連合会
事業実施団体 見初子ども委員会
見初母子保健推進委員会

事業名	7	見初地区課題解決事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	141,603円	助成金充当額	0円	
事業対象者	全区民及びその関係者	参加人数	延べ、100人+α	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 「新型コロナ」感染のじょうきょうをみすえながら関係スタッフで打ち合せを行い開催した。			
事業目標	・地域の課題を表面化し、その課題を検討し解決の第一歩を踏み出す。 ・地域の課題の一つである、子どもや若者の定住増を図る事業を行う。 ・住みやすい地区としてのアピール活動の実施			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	数値化していない	数値化していない	・世帯調査を実施することができた。また、3年ぶりに「20歳を祝う会」が実施できた。	
	(達成できた、又は、できなかった要因) この事業は単年度で成果が出る物ではないので、この項目に関してはコメントはできない。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 今年度は自治会連合会で「世帯調査」を実施する等一定の前進を図ることができた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 地区民全体への広報の充実。IT機器を活用できるスタッフの充実。			
自己評価 (3段階評価)	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	①	2	3
1:不十分	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
2:効果的	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 見初地域づくり協議会

事業名	8	広報事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	124,420円	助成金充当額	58,000円	
事業対象者	全地区民	参加人数	人数で表すことはできない	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 毎月、地域づくりの三役会で内容を検討し、毎月1回発行した。			
事業目標	地区関係の事業を毎月広報することで、全ての地区民に地域のことをより深く認知してもらう			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	毎月1回発行する	達成	毎月1回12号発行	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 毎月事務局会議及び地域づくり三役会で内容を検討。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 地区関係の事業を毎月広報することで、全ての地区民に地域のことをより深く認知してもらった。			
今後の課題等	広報作成に関わるスタッフの充実。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③